



主催者 インタビュー

五本木住区住民会議青少年部部長

田村秀樹さん

五本木住区夏まつりって？

五本木住区夏まつりは、もともと花火大会でした。五本木小学校の校庭が人工芝になって使えなくなったことから、7年前内容を変えました。あまりの暑さに、体育館内でのゲームコーナーなどを昨年から校庭での水遊びに内容を変えました。しかし昨年も天候が悪く、今年も小雨で天気に恵まれていません。今年は、小雨に加えて寒さもあったので、縮小プログラムで体育館内と玄関など屋根のあるところでの実施となりました。雨さえ降らなければ校庭で思いきり水遊びができたのですが…五本木小の子も私たちに加え、幼い子や他校の子も来ましたが遊びに来てくれていて、良かったと思います。

Q. どういう経緯で、青山子ども会とコラボしたのですか？

A. めくろうOGの香川さんつながりで、紹介していただきました。

Q. 大学生とコラボして、どうでしたか？

A. 大学生のお兄さん、お姉さんの方が子どもたち年齢が近いので、遊びやすかったと思います。

Q. 昨年から水遊びがテーマと聞きましたが、なぜそのテーマにしたのですか？また、そのテーマにしたどうでしたか？

A. 前は夏まつりを体育館でしていたのですが、校庭は暑いので「水をかけよう！」ということで水遊びになりました。ただ、残念なことに昨年も今年も天気は雨です(笑)。

Q. 子どもの頃の将来の夢は何ですか？

A. あまり考えていなかったのですが、プロ野球の選手になりました(笑)。

夏まつり開催の様子 前:雨れてはいるけどこんな感じでしたー



(五本木住区夏まつりに参加した感想)

こういうお祭りにはあまり参加した事がなかったのですが、とても楽しかったです。雨の中でもみんなが楽しそうで、まともなスーパーボールすくい、ヨーヨーなどのお祭りの定番や、工作、消防体験、しっぽとりなど、いろいろな体験ができて久しぶりにはなっていました。また、去年、こういうお祭りの取材が初めてだったので行きたいです。(香川) 思いのほか雨天続きで、最大のイベントである水遊びが中止になってしまいました。結果的に良い夏まつりだったと思います。特に消防放水体験では、普段は絶対することのないような体験ができた、ためになりました。(香川)



五本木住区夏まつりとコラボした 青山子ども会の方々にインタビューしました！



青山学院大学の児童福祉ボランティア部です。現在は、大学1年生～4年生の約65名で活動していて、今年でなんと64年目を迎えました。めくろうOG編集員である香川さんの所属する青山子ども会を、今年のめくろうで取材してみました。

Q. 夏まつりは、うまくいきましたか？

A. 未就学児から小学6年生までいろいろな子どもたちが集まってくれて、「楽しかった」と言ってくれたので成功したと思います。また、学年別に時間を変えたりなど、臨機応変に対応できたのが良かったです。

Q. 夏まつりは、100点満点中何点だと思いますか？

A. 80点以上90点未満ですね。天候に左右されてあわてて準備したということもあり、説明に不備があったなどの悪い点があったので、改善していきたいです。

Q. 夏まつりの楽しかった点、つらかった点を教えてください。

A. 天候が悪いということ、前日に急ぎょ企画を変更することになったので、そこが辛かったです。水鉄砲やシャボン玉など、準備してきたものができなかったことが残念です。でも、本番のことを考えながら準備したので、楽しかったです。

Q. 夏まつりの準備期間はどれくらいかかりましたか？

A. 一番最初の打ち合わせは4ヶ月ほど前ですが、それまではどういうまつりに参加するのかというのを決める期間を含めると、去年の冬くらいから半年以上かけて準備してきました。

Q. 夏まつりに参加した感想を教えてください

A. 今回の活動の目標の一つに、「普段活動する場所(渋谷付近の小学校や児童館)とは違うところで活動する」ということがありました。新鮮な気持ちで活動することができました。いろいろな方々とも関わることで、楽しく平和に終わって良かったです。

